

**G
L
E
M
L
C
U
B**

下

着なら……
ベンベルグと
云われています
それは一度
お求めの方が
すばらしい肌ざわり
汚れがおちやすく
長持ちする
てごろなお値段で
一番、下着に
適していると
云われるからです！

ベンベルグ

トリコット下着



旭化成工業株式会社



Bemberg

同志社グリーク

口 隆 俊

にも比べる位のものです。ド
いる合唱団さえあるので

世界史でのス
ラダ達のや
等を

創立54周年定期演奏会

指揮 市島 章三

客演指揮 Pierce A. Getz

賛助出演 同志社女子大学音楽専攻科生合唱団



主催 同志社グリークラブ 後援 京都新聞社・ラジオ京都

下



ごあいさつ

爽かなる初夏の夕、私達同志社グリークラブの催しました創立54周年定期演奏会にかくも多数御来場賜わりましたことを部員一同厚く御礼申し上げます。

今をさる54年前、現グリークラブ顧問片桐哲先生に依って始められた数人の聖歌隊も、各時代にあってグリーの為に絶えざる努力とつきぬ愛情をそぞこまれた先輩諸氏のおかげで、現在総部員数160名になんなんとする大世帯となり、レパートリーも宗教曲はもとより広く内外のあらゆる歌を組み入れ日々研究を重ねております。明治、大正、昭和の三代に渡り種々の障害をのりこえ、脈々とうちづけて来た伝統の中に、部員として活躍出来ることは私達グリーメンとしては最大の喜びであります。

私達はこの感激を新たに益々練習にはげみ、より秀れた男声合唱團として、又来るべき100周年を目指して、内外共に充実を期すべく歩みつづけるつもりでございます。

今後とも何卒皆様方の暖かき御援助と厳しき御批判賜わらんことを心より御願い申し上げます。

終りに、今夕の後援をこころよく引受けた京都新聞社、ラジオ京都の両社、贊助出演していただく同志社女子大音楽科の方々、また演奏会の為にとくにメッセージをもって励まして下さった諸先生方、さらに御来場の皆様に心よりお礼申し上げます。

同志社女子大学音楽専攻科生合唱団

I Soprano	奥川洋子 畠中みよ子 林督子 北川方子 大高潤子 清水匡子 高井幸代 大脇王紀子 小山かほる 安田早苗 青柳由美子	柴原規子 大谷真規子 斎藤麗子 鳥井雅子 浅野文子 原恵子 水谷情子 村上俊子 下井博深 白浜了子 藤本重子	I Alto	花原利子 北沢淑子 松村和子 坂根由紀子 山口麗子 前田町子 脇島知子 木下典子 松本靖子 三河牧子 森本久子 大枝三紀 奥田客子 大鳥居武子 齊藤教子	II Alto	畠中和恵 波多野美津子 御前東美 佐野訓代 森川照子 中嶋恵子 橋詰園 久保博子 奥克子 猿橋和子 山口慶子 百瀬咲子 中西穂穂 桜田紀子 安田且子
II Soprano	隅部昭子 前田愛子 竹沢恵子 木村厚代 久留鶴子 実金三江子	神戸範子 中村ひろみ 設楽玲子 磯具幸 上代玲子 御牧保子	Pierce A. Getz	伊谷美佐子 神戸範子 中村ひろみ 設楽玲子 磯具幸 上代玲子 御牧保子		

客演指揮 Pierce A. Getz

Lebanon Valley Collegeにおいて音楽教育及びピアノを専攻され、New York, Union 神学校の Master of Sacred Music の学位を受けられた。

以後 New York 市内の数個の教会の choirmaster としてオルガニストとして活躍された。

オルガンは Robert Baker に師事し、又 Robert Shaw にコラールの指導を受けられた。

1953年より仙台宮城女学院女子大学教授を経て、現在同志社女子大学音楽科教授としてオルガン、指揮法、合唱を担当しておられます。



下

着なら

ベンベ

M E S S

同志社総長 大塚節治

云々ことは慶祝至極であります。今日のグリークラブに育成された先輩及び御支援いただきました各位に満腔

ます。

かその若き情熱を傾倒する目的物を見失い可惜好ましからざる娛樂、運動に傾むく嫌いのある今日、わがグリークラブ

久達はオーソドックスな歌唱法により世界の名曲を声高らかに合唱し、聴衆各位と共に平和を愛で芸術を楽しむことによびを見出されたのであります。

若人の清純な情熱がかかる方向に進展することは社会の浄化、人類平和のためにも必ず貢献するところがあると存じます。

さいわい皆様方の御利解ある御支援を得て本日ここに盛大に定期公演を開催することが出来ましたことは感謝のほかありません。皆様方の御静聴を賜り、御批判御叱責をいただければ更に幸甚に存じます。

グリークラブ顧問 片桐哲

同志社グリーの歩みも今年で54周年を迎えるとしている。その組織内容は年々歳々卒業生を送り又新入生を迎えて絶えず変化を繰返して居り、恰も流れ流れて停滞を知らぬ河水の如く、一定の型をとり得ない存在である。然るにもかかわらず歴代のメンバーのたゆまぬ研究と努力との精進によって、少しも退歩せずに年々進境を示していることは、洵に喜ばしいことである。昨年度は全国合唱コンクールに於いて第三回目の優勝を成し遂げたのであるが、今年度はそれに参加した多くのベテラン達を、この三月に卒業と共に世に送り出しているので、その欠陥を如何にして残部のメンバーと新入部員とによって補充し、更に進境を示し得るかは、今回の定期研究発表会にかけられた最大関心事なのである。去る3月11日より4月1日にかけて実施された。今年度最初のグリーの活動たる山陽道と九州一周の長期に亘りし春季演奏旅行は、残部員のメンバーだけで決行されたものであり、その成果は今年度のグリーの運命を予断すべきパロメーターとも成るべきものと思われるものであったが、幸いにも最初の予想の不安は一掃されて、實に力強くも希望と光明とを前途に点するものであった。今春全国各地より吾が同志社大学に入学された優秀の中から入部された新鋭の若きメンバーを加えて茲に公開される本夕の研究発表会の成功を心より祈って止まぬ。

新らしいコースを進む 同志社グリークラブ

関西合唱連盟委員長 長井齊

同志社グリー・クラブを今日のような健かな姿に成育したのは、母校である「旧き同志社」の愛情に外ならぬことは今更云うまでもない。

昨年度に発表したあの優秀な演奏を通じて示した同志社グリーの全貌も、決して新らしく表をこらしたものではなかったと思う。従ってその功績は、単に昨年或は一昨年度所属部員諸君の努力のみに帰せらるべきではなく、永年に亘り段々として積み重ねられたもののがあることに相違はない。

全日本の合唱界に於けるユニークな存在としての関西合唱陣は、その主体が大学合唱に置かれていることはつとに認められている所であるが、其特徴とする点は、終始学生指揮者によって訓練されたことである。

アマチュア合唱団の技術的な限界についての批判を耳にする今日、これに関しては、今後尚多くの検討されなければならない問題をはらんで居るが、この度の演奏会に当って、同志社グリーは敢然この関西のお家芸を出し、客演指揮者としてゲット氏を迎えたことは、課題に対してグリーの強い意欲が感じられ誠にすがすがしい新鮮さを覚えるのである。

本日の演奏会が諸君の熱意により成功に導かれんことを念願して、心よりの祝辞とする次第である。

客演指揮 Pierce A. Getz

Greetings to you on your 54th annual concert! It is always a privilege and satisfying experience to be able to work with you. We of the Women's College chorus consider it an honor to appear as guests with you on this occasion, and especially appreciate being able to join you in the performance of several compositions for mixed chorus.

There is no doubt that with the splendid spirit and untiring effort constantly put forth by the members of the Doshisha Glee Club, it will continue to maintain in the future, as it has in the past, a position of leadership among the university and college glee clubs of Japan. We look forward to more joint experiences in singing together in the future.

A G E

伝統ということ

グリークラブ先輩 山口隆俊

同志社グリーは日本では古い歴史の長い合唱団の一つではあるのですが、やっと54年！ 人の一生にも比べる位のものです。ドイツの合唱団など200年の歴史をもち続けているのや、又中世のマイスター・ゼンガーから引ついでいる合唱団さえあるのです。だからまだ伝統の本質を深く考えてみると、いつでもピンと貴方達にはこないでしょう。

人はよく伝統を守れというのですが、古いことをただ守っていく、そんなことは害ばかりで意味のないことは、世界史でのスベインやポルトガルで旧教の僧侶やらがやったこと、日本史での武装僧侶の悪業を見ればわかります。我々グリーの先輩達のやるべきこと、こんなグリーの古い仕事を守るためにもののは意味はないと思います。それぞれの時代のメンバーがいつも前を見て、やらずにおれないことを先づ的に追求し、すくなくともこれこそ本物だと冷静に判断できる、新しい方向に活動してゆくことこそ、伝統を守ることのほんとの意味です。逆説的にいって伝統を常に破ることこそ、同志社グリーが永久に若やぐことなんです。一度や二度の成功やつまづきに根ざしたり、はしりだりしないで私達先輩をふみ越えて、貴方達でなければ出ない味と個性を大切にして、その特長とアトモスフィアを、その時代の人々の心にフレッシュなものとしてアピールできる合唱団であってほしいと祈らずにはおれません。

カリフォルニア大学と同志社グリー

作曲家 清水脩

昨年やって来たカリフォルニア大学グリークラブを聴いて同志社グリークラブがいろいろの点で似ているのではないかと思った。

ぼくの頭に残っているのは、ひょっとしたら20年前か前の同志社グリーの色合いかも知れぬが、それが奇妙にカナダの色合いの上にぼくの耳の中で重なってくるのであった。この頃はどうであるか。昨年の全日本合唱コンクールを聴くまでは何かある標準を上下していくパーソナリティというようなものを失いかけていたのではないかと思つたりしていたが、同志社のパーソナリティーはますます生きているのを知った。では同志社のパーソナリティーとはどんなものかときかれてても口では言う自信もないが、これをグリーの中で或はOB達の手で逃げないようにつかまえて育ててもらいたい。そういうパーソナリティーは同志社グリーの54年の歴史の中で醸釀されてきたのだが、それがカリフォルニア大学と似たところがあるのでから完成されたときの歌いぶりはすぐに予想できよう。創立54周年演奏会の成功をいのる。

藍色の音色

作曲家 多田武彦

私は音楽的色盲かも知れないが、同志社グリーの音色が深く美しい藍色に見える。特に昭和25年度コンクールの時の日下部氏指揮による「レクイエム」と、昭和32年度四大学交響演奏会の折の河原林氏指揮による「平安のミサ」を聴いた時には一層その感を深くした。昨年私がグリーの為に組曲「雪と花火」を書いた時もこの音色を絶えず頭の中に置いて居たことは事実である。

これは関学グリーのがっちり組立てられた美しさに較べて、同志社グリーの方が流麗な美しさを持って居る演奏を聴かせてくられたせいかも知れない。こうした関学グリーとは違った特徴が真摯な練習とチームワークの上に再生された時、コンクールの審査員をして昨年の様に同志社グリーへの一票を投げさせる気持を起させたのであろう。

技術的にはアマチュア合唱団としては高水準に達したし実績もついたのだから、あとは技術面では從来の努力を踏襲することにして、「合唱と云う場を通じて結ばれる得がたい人間関係や、その人間関係を通じてお互が明朗な決断力のある、協調性のある性格を少しでも多く体得出来る様な、その様な団体としても益々発展される様に」お願いする。

藤原歌劇団常任指揮者 福永陽一郎

今の日本の合唱界に於て、同志社グリークラブが、最も清潔とした存在であるであろうことは、うたがう余地がありません。元気いっぱいの合唱を聞くことは、本当に楽しいことです。それが、技術的にも安心して聞かれるものであつたら、楽しさを通して素晴らしいものになるでしょう。勿論、同志社グリークラブはそのような合唱団であるわけですが、今や、私たちが同志社グリークラブに期待するものは、更に音楽的に高いものであると云わねばなりません。それが、大へんな努力を必要とするところは、よく理解出来ますが、メンバー諸君が、油のりきった実力をを利用して、高い芸術を求めるることを、重荷を感じないで精進して下さることを切に願いつつ、今夜の演奏会の成功をはるか東京から祈っております。

PROGRAMME

I	ちんちん千鳥 近衛秀麿	
	びいでびいで——民謡集「日本の笛」より 平井康三郎	
	梢——男声合唱の為の組曲「季節と足跡」より 高田三郎	
	一本一本——男声合唱の為の組曲「季節と足跡」より 高田三郎	
II	Sometimes I feel like a motherless child P. Labach 編	
	Soon—a will be done 福永陽一郎 編	
	Nobody knows de trouble I see L. de Paur 編	
	De Animals a—comin' M. Bertholomew 編	
III	Credo in unum Deum ——「ロ短調ミサ」より J. S. Bach	
	Patrem omnipotentem ——「ロ短調ミサ」より J. S. Bach	
	Ihr habt nun Traurigkeit ——「ドイツ鎮魂曲」より J. Brahms	
	Glory be to God S. Rachmaninoff	
	Our Father A. Gretchaninoff	
	INTERMISSION	

ちんちん千鳥 近衛秀麿	ちんちん千鳥 近衛秀麿
	「ちんちん千鳥の啼く夜さは、硝子戸しめてもまだ寒い……」北原白秋の童謡に近衛秀麿が藤原義江のために作曲した子守唄。優美な情緒は限りない郷愁の世界に運んでくれる。編曲は関学OBの林雄一郎氏、ピアニシモの効果を美しく生かした佳品である。
びいでびいで 平井康三郎	びいでびいで 平井康三郎
	びいでびいでの花は紅い、花かんざしのような南国の花——北原白秋の民謡集「日本の笛」から20編を選び平井康三郎氏が独唱曲としたものを、更に男声合唱のために作者により再編された。本篇はその内最も優美なもの。
梢・一本一本 高田三郎	梢・一本一本 高田三郎
	昭和31年全日本合唱コンクール男声の部課題曲「風」を中心に「春」、「梢」の二曲を加え、組曲「春、風、梢」として発表されたものに、更に昨年「大陸風景」「一本一本」の二曲を加え、組曲「季節と足跡」として完成された。各曲の題が示す如く、高田氏の獨得な合唱技法と相まって、季節の感覚を自づと感じせしめている。
	「梢」は男声合唱の美しいピアニシモを生かす様に、又「一本一本」は日本語のイントネーションを獨得のリズムの上に生かしている。
時には母のない様な気がする ラバック 編	時には母のない様な気がする ラバック 編
	「ふるさと遠くはなれ、みなし子の如く、寂しさいまやまさりぬ。なつかしき故郷おもえはるかに来るかな……」奴隸として遠く異郷の地に売られて来た黒人のかなしみを哀愁にみちたテノールソロが唄う。
やがて全てが終る 福永陽一郎 編	やがて全てが終る 福永陽一郎 編
	「やがて全てがこの世のやみの只中で終る。もう泣いたりわめいたりするごとはない。おっかさんに会って、そして神様と共に暮すのだ」激しい二拍子のリズムと静かな中間部のアレルヤとが対比される。デ・ポーア合唱団の演奏などでおなじみの曲。
誰れも知らない私の悩み デ・ポーア 編	誰れも知らない私の悩み デ・ポーア 編
	「誰れも知らない私の悩み、主イエスのみが知り給う。栄光あれ、アレルヤ！」
	黒人靈歌の中でも一段と秀れ、又世人に知られた名曲。男声合唱とソプラノソロがからみ、重厚なハーモニーを樂しませる。
動物達がやって来る バーソロミュー 編	動物達がやって来る バーソロミュー 編
	「動物達がやって来ます。牛も、象も、カンガルーも……あんまり沢山やって來たのでノアはびっくりしてしまいました。いつたいいつになつたらアララテの山に着けるんでしょう。」ノアの洪水の伝説によつた軽快な曲。編曲者バーソロミューはエール大学グリークラブの指揮者。
我れ信ず・全能の父 バッハ 編	我れ信ず・全能の父 バッハ 編
	この二つの合唱は、J.S.バッハの「ロ短調高ミサ」中の第三章クレド(信経)の冒頭にあるもので、有名な「十字架につけられ給ひ」等と共に最も秀れたものである。
	高ミサとはルーテル派におけるところの莊嚴ミサ(ミサ・ソレニムス)であつて、カトリック典礼とは異なるところがあり、そのため、このミサのあまりにも音楽的に秀れているにもかかわらず、カトリック典礼には奉獻されないのである。
「その母をいやすものは、又彼もいやされん」 ブラームス 編	「その母をいやすものは、又彼もいやされん」 ブラームス 編
	ブラームスのドイツレキエムは、カトリック典礼によるレキエムとは異り、ドイツ訳聖書より取られた7章より成り、彼の母の死を悼んで作曲されたきのである。
	この曲はその第五章に当り、ソプラノソロとコーラスが優美に唄う。テキストはイザヤ書66章13節
聖なる父よ グレチャニノフ 編	聖なる父よ グレチャニノフ 編
	Alexander Gretchaninoff (1864~)は、モスクワ生れの教会音楽家であるが、革命前よりアメリカに渡り、1946年には米国籍を得ている。
	この曲の終りには神が我々の内にいますこと求めるチャントが、あたかも大聖堂のオルゲルの如く鳴り響く。
神に栄光あれ ラフマニノフ 編	神に栄光あれ ラフマニノフ 編
	ラフマニノフは、カンタータ「春」をはじめいくつかの合唱曲を著しているが、この曲は“Songs of church”として知られる十五の合唱曲中のもので、彼の器楽曲に見られる様な深いロマン性に満ちているが、神秘的、且つ靈的なものも同時に有しているのである。

PROGRAMME

IV カチューシャ 福永陽一郎 編

ヴォルガの船歌 S. Jaroff 編

Rio que pasas Llorando —— コロンビア民謡 L. de Paur 編

最上川船唄 —— 山形県民謡 清水脩

V 山寺の和尚さん 服部良一

七つの子 本居長世

Summer Time —— 歌劇「ボギーとバス」より G. Gershwin

Love is a many splendored thing S. Fain

VI Kyrie A. Duhaupas

Adoramus Te T. Dubois

I shall not die without a hope R. Tompson

I, II, IV, VI 指揮 市島章三 ピアノ伴奏 有賀のゆり

III. 指揮 Pierce A. Getz ソプラノ独唱 加藤雅子

オルガン伴奏 松村英世

V. Glee Club Silver Gate Quartette 伴奏 佐谷克己

カチューシャ

福永陽一郎 編

「カチューシャよ、わがいとしの花よ……」

戦後で日本で流行したおなじみのソヴェト歌曲。ロシア民謡独特の「だんだん早く」という手法を巧みに取り入れている。編曲者福永陽一郎氏は、藤原歌劇団及び東京コラリエーズの指揮者として令名を馳せている。

ヴォルガの船歌

ジャーロフ 編

数多いロシア民謡中、最も代表的なもので、シャリア宾のソロ、或いはドン・コサックの合唱等で世人に親しまれている。ここでは、ドン・コサックの指揮者であるセルゲイ・ジャーロフの編曲によった。遠くから近くへ、又近くから遠くへと去っていく感じを高く低く現している。

嘆きの川

デ・ポーア 編

南米コロンビアの民謡を、デ・ポーアの編曲により、哀愁をこめたテノール・ソロにバッリコラスのギター・ソフトがからむ。「やさしき鶴よ、歌うをやめよ。おまえの恋の歌はあの娘にはとどきやしないんだ……」

最上川船歌

清水脩

オペラ「修禅寺物語」等で著名な作曲家清水脩氏の最近の日本民謡による連作の一。「佐渡おけさ」、「機織歌」と共にグリークラブOBより成るクローバークラブにささげられた。男声合唱のダイナミズムを極度に生かした名品である。

Silver Gate Quartette

創立は今から5年前にさかのばる。当時「ヒットパレード」等の映画によって紹介された Golden Gate Quartette、日本に於ては慶應ワグネルのO.Bで組織されたダークダックス等に刺戟され、その頃の学生服と宗教曲といったグリークラブに何か新しいものを導き入れようとしたのであった。

それから数年 Negro Spiritual に、Popular Song に、Hit Tune に、さては邦人創作曲にとそのレパートリーを拡げ、現在の親しまれる存在に至った。

今日のプロはリズミックで且つコミックなベースのリードによる「山寺の和尚さん」、美しいハーモニーを聞かす「七つの子」、この Quartette の新しいレパートリーの方向としての「サマータイム」、そしておなじみの「恋はすばらしいもの」とボビュラーではあるが意欲的なレパートリーをまとめた。

メンバーは Top Tenor 長谷川邦男、Lead Tenor 柳瀬一輝、Baritone 坪井高国、Bass 早鶴英治の四名、Piano 伴奏は同志社交響楽団の佐谷克己君である。

主憐れみ給え

デュオパ

19世紀後半、フランスの男声合唱運動オルフェオンの指導者であった Albert Duhaupas の男声合唱のための莊嚴ミサ中のキリエ。このミサのキリエをクローバークラブが、グロリアをグリークラブが共に歌い、昨年度全日本合唱コンクールの一位をかち得たことは記憶に新しい。

キリストよ汝をあがめまつる

デニボア

フランス近代の作曲家であり、又和声法の大家でもあった Théodore Dubois (1837~1924) が1867年に発表した「十字架上の七言」より取られた。

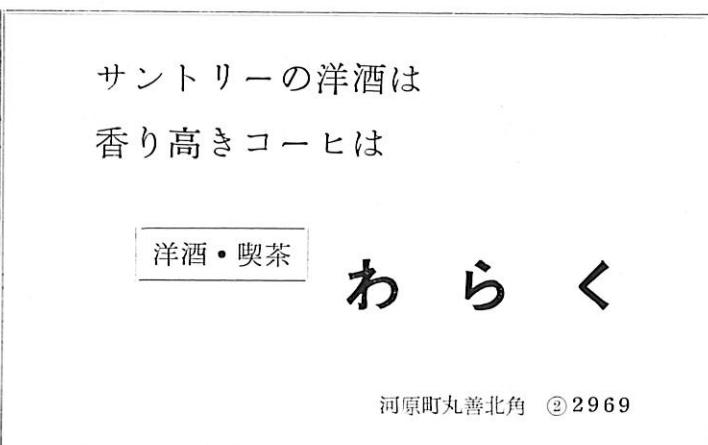
「キリストよ、汝をあがめまつる、汝の聖なる十字架によりて世をあがない給ひし故に」

私は希望なしには死れない

トムブソン

Randall Thompson (1899~) は、アメリカの著名な作曲家。オペラ「ソロモンとバルキス」や混声合唱のための「アレルヤ」等によって知られている。この曲は、T. Jefferson の生誕二百年を記念して、彼の四つの断章に基き、四部作「自由の契約」として作曲されたものの第四部をなし、光明と自由を求める暗い前半部と、第一部の再現である行進曲風の後半部に対比される。

DOSHISHA GLEE CLUB MEMBERS



絢爛豪華 300 名の大合唱

第七回東西四大學合唱音樂會

早稻田大学グリークラブ
同志社グリークラブ

慶應ワグネルソサエティー
関西学院グリークラブ

6月21日(土) 6:30 PM
22日(日) 2:00 PM
6:30 PM



御所に於る練習風景



合宿 淡路島へ



青森県八戸、種差海岸の牧場で



ステージ前の腹ごしらえ

GLEE CLUB

▷一年のあしあと▷

1957.

- 5.25 第2回クローバークラブ 演奏会出演 同志社栄光館
- 6.16 カリフォルニア大学と交歓演奏会 同志社栄光館
- 6.23 第6回東西四大学合唱音楽会 日本青年館ホール
- 6.29 第9回立教・同志社交歓演奏会 同志社栄光館
- 7.19~22 グリークラブ合宿 於淡路島

7.27~28 同志社祭参加

於 四国高松, 松山
8.7~20 東海道, 東北演奏旅行 (浜松, 静岡, 東京,郡山, 塩釜, 仙台, 一関, 盛岡, 一戸, 八戸, 青森)

10.24 梅花フェア出演 大阪産経会館

10.27 慶應・同志社文交歓音楽会 同志社栄光館

11.9 関西合唱コンクール 尼ヶ崎文化会館 (大学之部第1位)

11.23 全日本合唱コンクール 大阪府立体育館 (大学之部優勝)

11.24, 25 同志社EVE 栄光館

11.30 同志社EVE 大阪産経会館

12.21 全日本コーラス第1位招待演奏会 ヤサカ会館

1958.

1.18 フェアウェルコンサート 栄光館

1.23 NHK海外放送録音

3.11~4.2 中国, 九州演奏旅行 (津山, 岡山, 福山, 尾道, 防府, 大分, 延岡, 鹿児島, 熊本, 佐賀, 長崎, 佐世保, 博多, 久留米, 小倉, 田川, 下関, 広島, 姫路)

4.19 新入生歓迎クラシックコンサート 栄光館

5.24 マンドリンクラブ演奏会 出演 大阪産経会館

5.25 合唱祭 大阪府立体育館



鹿児島駅頭でカレッジソング



長崎市で結核療養所慰問



原爆ドームをバックに広島にて

Kyoto music Center

皆様の

十字屋 楽器店

楽器・楽譜 ② 0575, 3722
ピアノ ② 3548
レコード ② 5466, 4905

心 通 と
セレブ
おしゃれの店
轟々堂

京都市四条河原町・電話② 4123番
④ 4865番



CONFECTIONERY

I Z U M I Y A

FRESH DAILY
EVERY VARIETY OF CAKES
TARTS COOKIES AND CANDIES

欧風銘菓
クツキーの泉屋

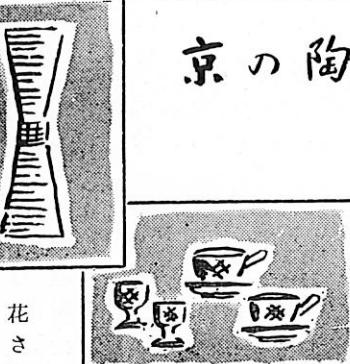
京都市中京区烏丸二条下ル 電話③ 4627・3353番



京の陶器 **詠樂會**

配品規約

一、一、一、一、一、
配蓋茶花玉銘漬物
品名物の間セツト
花さし



玉子セツト

配送方法
会費
送料・荷造
申込法
申込所

毎月一回季節に順じて
毎月 300円を配品と引換に
6回分を一時払の場合は1650円に
京阪神市内及び東京, 大津は無料
その他は送料実費申受ます
申込用紙に御記入願います

京都店 京都市五条橋東三丁目 ⑥ 603-604
東京店 東京都中央区京橋一丁目七 ⑥ 855-3652
大阪店 大阪市東区伏見町一丁目 ② 4961

備考 製作の都合により配品期日に多少の遅延は
御了承願います。

萬珠堂

タイプ印刷・謄写版印刷は 親切・丁寧・安価な

大勝堂

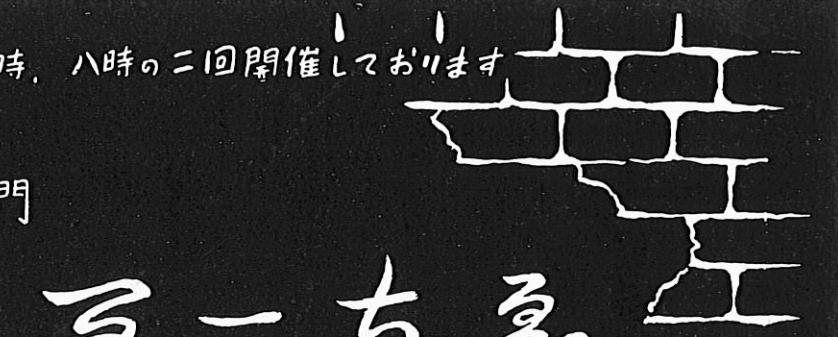
河原町丸太町下ル東側 TEL ③ 2762

名曲コンサート 毎日午後三時, 八時の二回開催しております

早朝十時開店

立体音響 L.P. 専門

名曲珈琲



河原町蛸薬師(九善南側東入)TEL(2)5765